

おどろき、快適、仕事と暮らし



統合報告書 2025



経営理念

**独創的な商品を開発し、
新たな文化の創造をもって社会に貢献する**

行動指針

見つめよう市場 見なおそう慣行 見つけよう新発想

顧客に対して

商品およびサービスは、十分な顧客満足を果たさなければならない。新商品開発は、市場開拓型の独創的な企画を追求しなければならない。その品質は顧客の求める水準に維持され、かつ適正な価格でなければならない。

社員に対して

社員の個性を尊重した能力開発とともに、自由闊達な提案や意見具申ができるなど、能力を生かせる職場環境を保たなければならない。待遇は能力と実績に応じ、公正かつ適正なものでなければならない。

株主に対して

常に株主の信頼と理解を得られるよう、情報を積極的に開示しなければならない。企業価値の増大と株主への利益還元に努めなければならない。コーポレートガバナンスを強化し、公正かつ透明性の高い経営を行わなければならない。

社会に対して

商品は、文化の向上に貢献できるものでなければならない。社内のコンプライアンス体制を整備し、社会の一員としての意識とモラルを持たなければならない。商品と企業活動を通して、常に環境と資源の保護に努めなければならない。

イントロダクション

- 01 経営理念・行動指針**
- 02 目次・編集方針**
- 03 価値創造の歴史**

価値創造ストーリー

- 04 社長メッセージ**
- 08 価値創造プロセス**

価値創造戦略

- 10 第11次中期経営計画の進捗**

事業別戦略

- 11 文具事務用品事業**
- 17 ライフスタイル用品事業**
- 21 CFOメッセージ**
- 23 座談会**
次世代を担う社員が語る
キングジム“らしさ”

価値創造の基盤

- 27 マテリアリティ（重要課題）**
- 28 環境への配慮**
- 30 多様な人材の活躍推進**
- 32 特集 産学学連携プロジェクト**
- 33 ガバナンスの充実**
- 36 役員一覧**
- 38 社外取締役メッセージ**

データ集

- 39 財務ハイライト**
- 40 非財務ハイライト**
- 41 11カ年サマリー**
- 42 株式情報・会社情報**

編集方針

本統合報告書は、株主・投資家をはじめとする当社と関わりのある皆様に向けて、第11次中期経営計画を中心とした価値創造の取り組み、および事業を通じたESG課題解決のための活動をご理解いただくことを目的に発行しています。編集にあたっては、経済産業省「価値協創ガイドンス2.0」、国際統合報告評議会(IIRC)「国際統合報告フレームワーク」などを参考にしています。

**報告対象組織**

株式会社キングジムおよび連結子会社

報告対象期間

2025年6月期(2024年6月21日～2025年6月20日)

※上記期間前後の内容も一部含みます。

ディスクレーマー

本統合報告書に記載されている事業見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。





文具事務用品事業

1927年 創業者・宮本英太郎 が「特許人名簿」、 「印鑑簿」を発売	1964年 「キングファイルG」 発売	1976年 「クリアーファイル」 発売	1988年 ラベルライター 「テプラ」発売	2008年 デジタルメモ 「ポメラ」発売	2008年 防災用品 「帰宅支援キット」 発売	2017年 ステーショナリーブランド HITOTOKI立ち上げ	2019年 アルコールディスペンサー 「テッテ」発売	2025年 防災ブランド KOKOBO立ち上げ

当社は1927年の創業以来、時代の変化に適応しながら革新を重ね、多くの独創的な商品を通じて新たな文化を築いてきました。2027年に創業100周年を迎える今も、これまでに培った歴史と経験を活かし、事業領域を文具事務用品からライフスタイル用品へと広げ、常に進化を続けています。キングジムはこれからも、時代の変化をチャンスと捉え、新たな価値を創造し続けます。

ライフスタイル用品事業

2001年 長島商事株式会社 (現:株式会社ラドンナ)を グループ会社化	2008年 株式会社 アスカ商会を グループ会社化	2014年 株式会社 ぼん家具を グループ会社化	2020年 ウインセス 株式会社を グループ会社化	2021年 ライフオンプロダクト 株式会社を グループ会社化